

外壁に面していなくても設置でき 早く暖まるのが床置形の魅力

大阪府吹田市 中村庄次郎様・浩子様

ハウジングエアコンは、新築やリフォームの時だけでなく、お部屋の状況に応じてさまざまなソリューション提案にも活用することができます。今回は、壁掛形が設置できない部屋に床置形を設置された中村庄次郎様・浩子様のお宅を訪ねて、床置形のメリットを伺いました。



じゅうたんのように広がる暖かさ

中村様宅の和室は、南に縁側、東に玄関、西と北は隣室と接しており、外壁には面していません。そのため、壁掛形のエアコンを設置すると、冷媒配管が他の部屋に露出するという課題があったのです。

「床置形なら床下に配管を通すことができると聞き、床置形のカスタムエアコンを設置したのが十数年前のことです。それが古くなったため、今回、同じ床置形のヒートポンプ式に代えたのです」と中村様。

更新から半年を経て、ご夫妻が感じるメリットは設置性の高さだけではなく、なによりも気に入っておられるのは、まるでじゅうたんのよう足元に広がる暖かさです。



落ち着いた和室のたたずまいにも、自然と溶け込む。

納入設備

ハウジングエアコン床置形「フローア」S50CVV-TX1台
壁掛形ルームエアコン「Rシリーズ」S25DTRS-WX1台
壁掛形ルームエアコン「HDシリーズ」S25DTHDS-WX1台



閑静な住宅街に建つ中村様邸。



配管は床下を通しているため
室外機の設置場所は自在。

「ガスに比べて、暖まるのがうんと早いですね。10畳大の和室と隣の6畳間の2間を暖房しても、すぐに暖かくなります。昨年まではホットカーペットをエアコンと併用していたのですが、今年はその必要がありませんでした」と話されます。それに暖まり方も、上からと下からの気流で「ちょうどいい感じ」の快適さだそうです。

この部屋で過ごす時間の長い浩子様は、床の間や違い棚のある和室にマッチするブラウンのカラーや、落ち着いたデザインがお気に入りです。

「ランニングコストの面でも、ガスエアコンを使っていたころと比べて下がっているように思いますし、手入れの際に踏み台などに載らなくてもいいのも、主婦にとっては安心ですね」と浩子様。「気流をコントロールするうえで、一番理にかなっているのが床置形でしょう。本体もコンパクトになったし、申し分ないと思います」と、昨年までエンジニアとして働いてこられた中村様らしいコメントで締めくくっていただきました。